

1850年創業 「漁民の利益につながる、よい漁具を」



アサヤ株式会社

会社案内



〒988-0853 宮城県気仙沼市松川前13-1

TEL : 0226-22-2800 / FAX : 0226-22-5434

【事業所】

(営業) 気仙沼、石巻、釜石、宮古 (工場) 階上、越喜来

【ホームページ】

<http://www.asaya.co.jp/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/asaya.co.jp>

アサヤは1850年創業の漁具屋で、三陸全域を商圈としています。
代々、「漁民の利益につながる、よい漁具を」の理念を守ってきました。



「針金」の語源を作った
廣野太兵衛
(二代目)

のれん百年

石巻 岩手県気仙沼、宮に 支店置いて販路拡大 支店置いて販路拡大 支店置いて販路拡大

「漁具類の移り変わり」

◇昔の沿岸漁民は釣漁が中心。釣糸は麻をあんできり、釣針は鉄のかたまりを鍛えて鍛冶屋でつくってもらった。

◇明治の初期、東京の鉄鋼メーカーが、鉄線を生産するようになり、便利になる。釣糸も釣針も鉄線になる。

◇昭和20年代にはナイロン、やビニールの釣糸が使われるようになった。釣針も鉄線を使うようになったのは明治の中ごろ。

「漁具商」

気仙沼市八日町 麻屋商店

「長崎（二代目）廣野太兵衛」

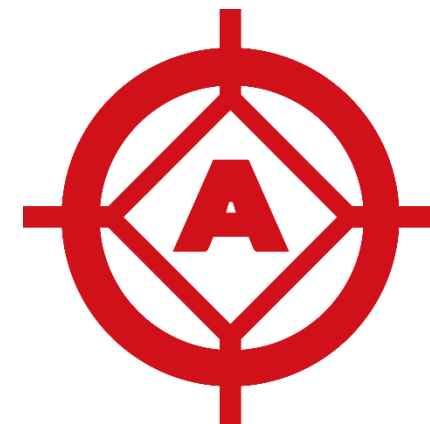
輸入鉄線大当たり

「漁民の利益」いまも家訓に

「針金」の語源を作った廣野太兵衛(二代目)

1971年12月2日 毎日新聞 宮城版 14面

社名	アサヤ株式会社	
所在地	〒988-0853 宮城県気仙沼市松川前13-1 TEL : 0226-22-2800 / FAX : 0226-22-5434	
代表者	代表取締役社長 廣野 浩	
資本金	50,000,000円	
従業員数	76名（常勤役員を含む、2015年5月現在）	
創業	1850年（嘉永3年）	
法人設立	<ul style="list-style-type: none"> 1948年5月1日 1988年6月1日 	<p>「株式会社麻屋商店」を設立 「アサヤ株式会社」に社名変更</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 漁具・船具・漁業資材・漁撈機械の販売 水中ロボットでの漁場調査 漁撈機械の修理・整備（漁撈機械課、鉄工部） 救命筏の整備（漁撈機械課） 油圧ホースの製作（漁撈機械課） 漁網の防汚加工・染網（染網部） 船舶の塗装（塗装部） フロートの製造（化成部） 漁網の仕立て（子会社：麻屋漁網株式会社） 	



アサヤのロゴマークは、1988年に社名変更した際に、5代目・廣野甚吉がデザインしました。

アサヤの英字表記の「A」、主要製品であるロープの円形、同じく主要製品である網の菱形をモチーフとしています。



江戸後期から150年以上も続く漁具船具の老舗「アサヤ」

アサヤ

(気仙沼市)



広野 浩さん

江戸末期の一八五〇年を付けた、麻の網を使っ
に、初代の広野太兵衛が気
仙沼市八日町の旧本社で麻
の商売を始めた「広野屋」
がルーツ。当時は麻屋に針
つなびた。

大正初期には釣り糸が麻
から絹、漁網も綿糸網に変
わった。手こぎ船たけでな
く、動力船が導入されたた
い」と話していた。

現社長の廣野浩
(六代目)

社員主役に 漁具を商う

2001年2月23日 気仙沼かほく 4面

気仙沼出身の陸軍中将・廣野太吉も
アサヤに縁のある人物

屋号ものがたり



投稿

「陸軍・広野中將」
陸軍中將 廣野太吉
一等功章の廣野太吉は
戦時中、気仙沼出身の
軍人として最前線に
あり、町民憧れの的であ
り、戦後の初年(一九八
七年)二月四日、気仙
沼市八日町の旧三浦・
屋号麻屋、父広野長
衛(二代目大兵衛)、
母と、(折尾小山等)
の四男として生まれ
た。

麻屋商店は親業の緒
たあと、継ぎ入れ、統
一水三年(一八五〇年)
に「アサヤ」を創った。
お針(を)作ったと、
から始まり、「広野屋」
の骨で麻屋を築いて
いた。

商店がイラスか鉄
鋼を輸入したとを知
る。「麻屋」では船や
馬車に釣り針の材料
なる鉄線を手に入
れ、漁師たちは馬車
に鉄線を手に入
り、大いに喜んだ。

校卒業後、仙居一
中、仙居陸軍幼年学
校、陸軍中央幼年学
校を経て、明治三十
八年(一九〇五年)十
一月、陸軍砲兵学校
第一、陸軍砲兵学校
第二、陸軍砲兵学校
第三、陸軍砲兵学校
第四、陸軍砲兵学校
第五、陸軍砲兵学校
第六、陸軍砲兵学校
第七、陸軍砲兵学校
第八、陸軍砲兵学校
第九、陸軍砲兵学校
第十、陸軍砲兵学校

等科卒業して陸軍砲
兵隊員に任ぜられ、
大正四年(一九一五
年)に陸軍大学校を卒
業し、砲兵少佐に任
ぜられた。砲兵少佐
として、大正四年十
一月、出陣前の二
月一日に愛も兼ねて
歸郷した。

在郷軍人の選別会
に認められ、友人
らと懇談した。佐藤
は、ついで佐藤中尉
の現職はシベリア系由
りであった。

一州で最も進んで
いたのは独逸(ドイツ)
に上つて、ソビエト連
邦(露)と四年八月、
仙居上野を遊ばし、
りてなく、すべの夜

一、現承継世に出
る。八月一日から一
年八月一日までの
間にわたり、陸軍
司令官として任務
を遂げた。東郷(東郷
平将軍)の第一師
団長に任ぜられ、
十月十日には天皇
陛下の御臨幸にあ
り、大演習を視察
する。小梅から軍
艦に乗り、大演習
に参加した。大演
習に際し、陸軍中
將に任ぜられた。



広野太吉

2008年9月18日 三陸新報 5面

アサヤ株式会社

代表取締役社長

営業部門

気仙沼本社

営業部

石巻支店

釜石支店

宮古支店

製造部門

階上工場

漁撈機械課

鉄工部

染網部

塗装部

気仙沼本社

化成部

総務部門

気仙沼本社

総務部

経理部

麻屋漁網株式会社

越喜来工場

事業所	住所	部署	TEL	FAX
気仙沼本社	〒988-0853 宮城県気仙沼市松川前13-1	総務部	0226-22-4300	0226-22-4302
		営業部	0226-22-2800	0226-22-5434
		化成部		
石巻支店	〒986-1111 宮城県石巻市鹿又中塚25	石巻支店	0225-98-7870	0225-75-2238
釜石支店	〒026-0002 岩手県釜石市大平町3-9-1	釜石支店	0193-22-2410	0193-22-2455
宮古支店	〒027-0096 岩手県宮古市崎鍬ヶ崎第11地割10-1	宮古支店	0193-62-6234	0193-63-3046
階上工場	〒988-0213 宮城県気仙沼市最知南最知304-7	漁撈機械課	0226-27-3008	0226-27-2091
		鉄工部		
		染網部	0226-27-5781	
		塗装部		
越喜来工場	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来烏頭5-1	麻屋漁網株式会社	0192-44-3265	0192-44-2130

商品

繊維（ロープ・網・糸）



薬品（防汚剤・塗料）



機械（漁船用・養殖用）



施設（フロート・アンカー・土俵）



備品（カゴ・金物・プラスチック）



拠点

仕入



販売



内製作業

- 漁網の仕立て
- 油圧ホースの製作
- 救命筏の整備
- フロートの製造
- 水中ロボットでの漁場調査
- 漁撈機械の修理・整備
- 漁網の防汚加工・染網
- 船舶の塗装

顧客

漁船漁業



養殖漁業



定置漁業



アサヤの事業は三陸漁業と共存共栄。これは過去も未来も変わりません。

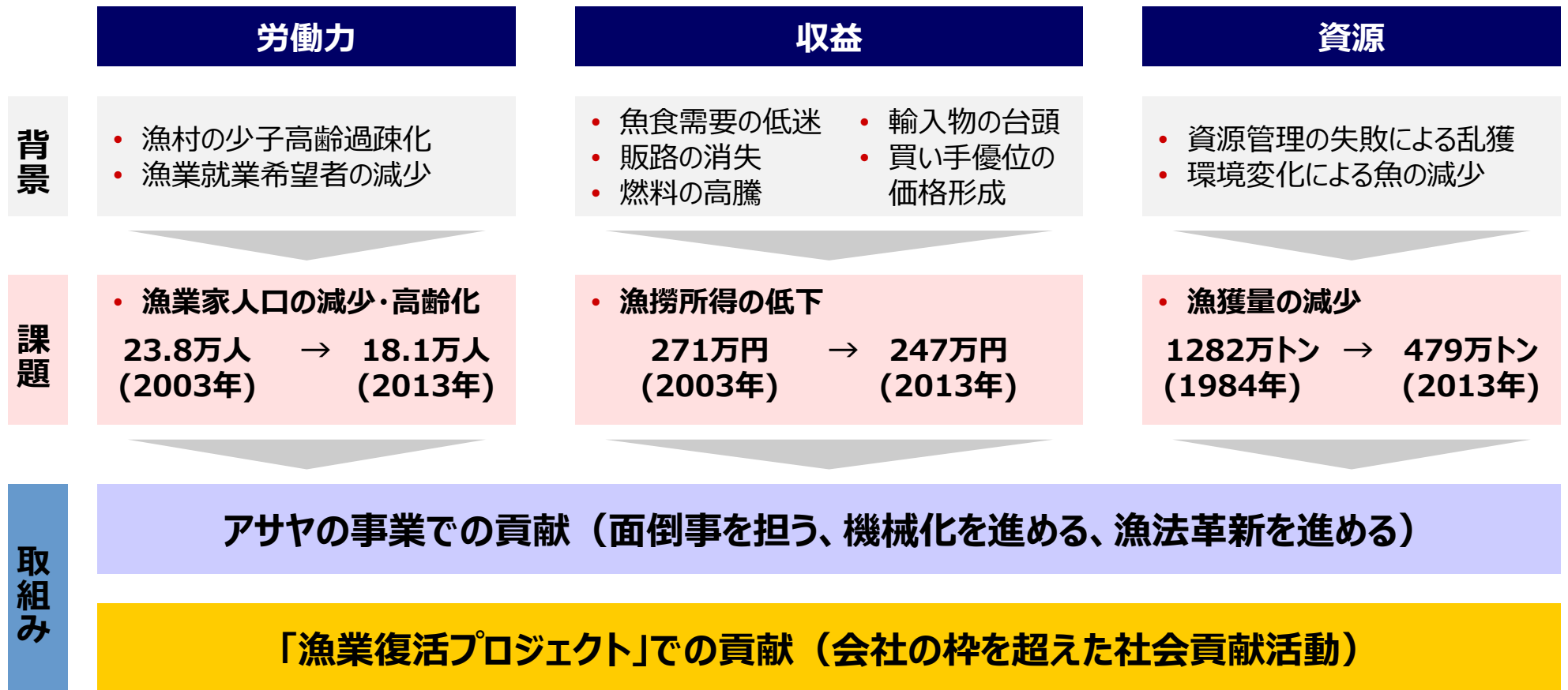
	三陸漁業の生産額			→	アサヤ 事業規模
	宮城県	岩手県	合計		
1990年	1,517億円	697億円	2,214億円	→	43億円
2000年	957億円	481億円	1,438億円	→	35億円
2010年	777億円	385億円	1,162億円	→	18億円



**東日本大震災以降は、設備復旧や操業再開のために尽力。
今後も漁業家と共に、三陸漁業の成長と発展に貢献を続けていきます。**

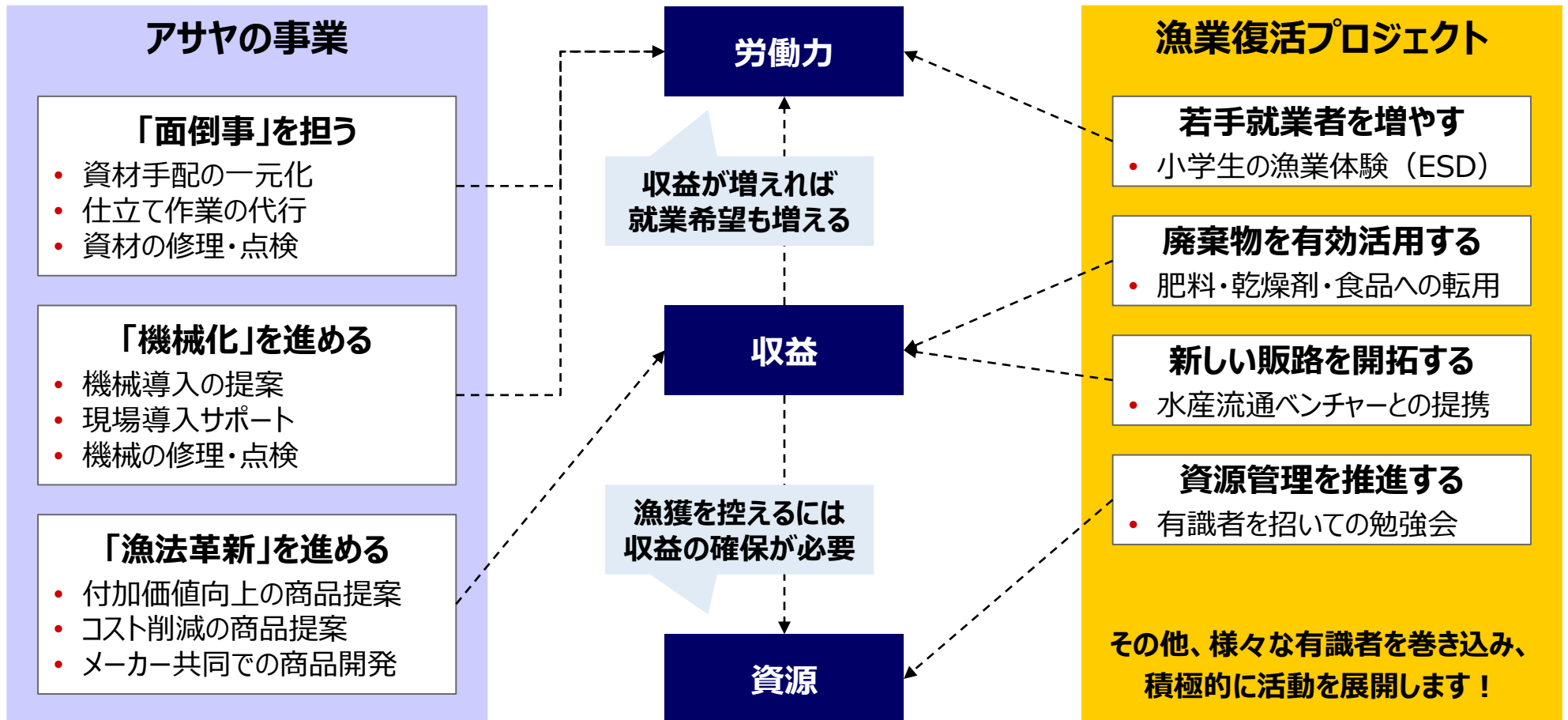
※データ出所：農林水産省 漁業生産額 宮城県 岩手県

三陸漁業が抱えている「労働力」「収益」「資源」の課題に対して、アサヤの事業と「漁業復活プロジェクト」、両面から積極的に取組みます。



※データ出所：農林水産省 農林水産基本データ集

アサヤの事業では、「面倒事」を担い、「機械化」と「漁法革新」を進め、「漁業復活プロジェクト」では、有識者を巻き込んで活動を展開します。



漁船漁業

漁船を主体とした漁業を営んでいる顧客。

気仙沼の遠洋・近海マグロ延縄が大半を占めており、あとはメカジキ突きん棒、イサダ船びき網、サケ縄、サケ刺し網などが含まれる。



画像引用元：[フォト蔵](#)



画像引用元：[Wikipedia](#)

養殖漁業

様々な海面養殖漁業を営んでいる顧客。

主に、三陸全域で行われているホタテ・カキ・ワカメ、岩手南部～宮城のホヤ、宮古のコンブ、宮城北部のギンザケなどが含まれる。



画像引用元：[宇部エクシモ](#)



画像引用元：[漁ログ](#)

定置漁業

定置網を使った漁業を営んでいる顧客。

定置網には都道府県知事の免許が必要で、5年毎に免許の更新がある。岩手・宮城では漁協単位で営んでいることが多い。



画像引用元：[神奈川水産技術センター](#)



画像引用元：[トヤマジャストナウ](#)

繊維 (ロープ・網・糸)



薬品 (防汚剤・塗料)



機械 (漁船用・養殖用)



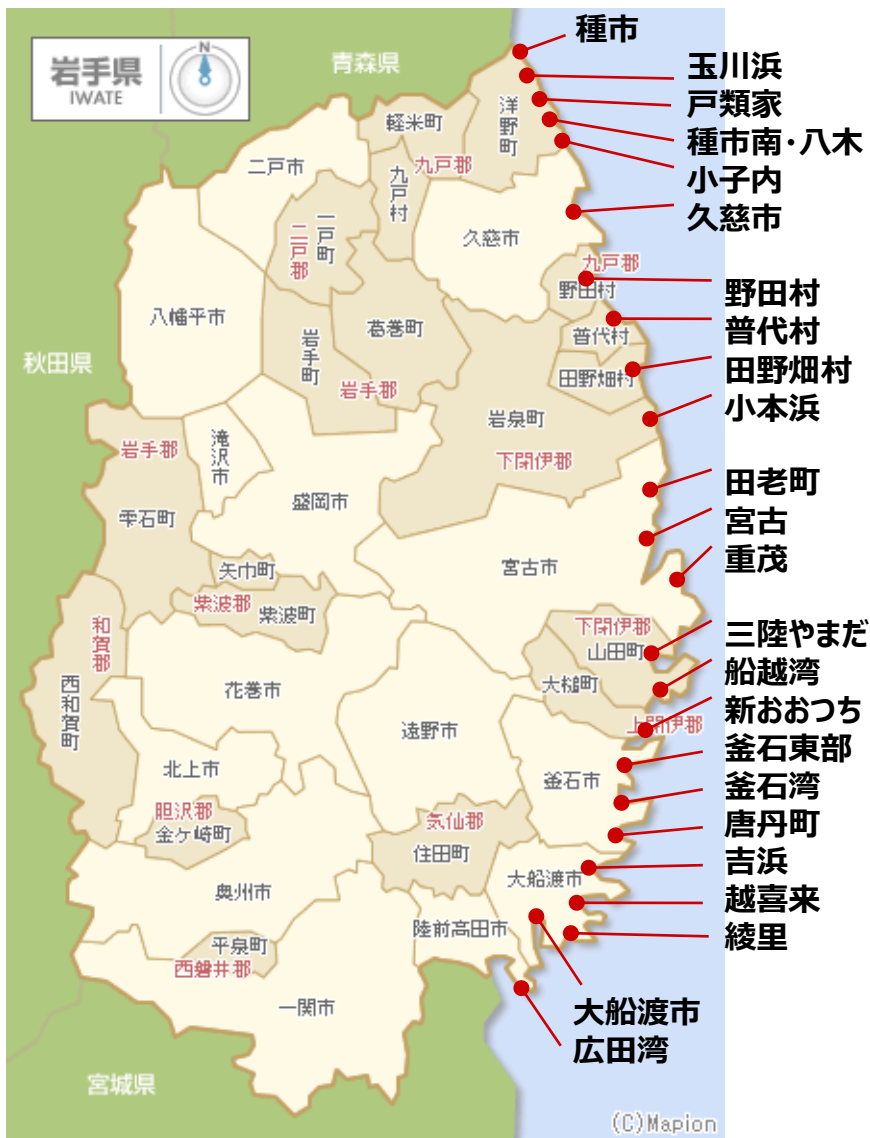
施設 (フロート・アンカー・土俵)



備品 (カゴ、金物、プラスチック)



主要商圈 (岩手県・宮城県)



三陸漁業の概況（漁法別、2012年）

地域	漁法	漁獲・計	網					釣り			採貝・採藻	
			底びき網	船びき網	まき網	刺し網	敷き網	定置網	延縄	一本釣り		イカ釣り
岩手	久慈	48				0.9	サケ・マス イワシ サバ ブリ	29	6.5		7.3	2.0
	普代	32				0.2			0.7		2.8	0.5
	宮古	199		8.5		0.3		50	5.2		0.6	6.7
	山田	63		13		0.5	6.6	30	3.2		1.0	0.6
	釜石	285		9.1		0.3	29	32	0.1		2.0	0.5
	大船渡	278		60		0.8	133	62	1.7		9.1	0.9
	陸前高田	61		11	カレイ タラ サケ・マス	0.7		3	0.2			0.3
宮城	気仙沼	400		18		14	47	14	174	マグロ カジキ サメ		0.9
	南三陸	65		21		6.7		11	0.2			3.3
	女川	89				0.6		5.9	0.1			0.4
	石巻	631	100	28		4.9	120	161	0.1		1.6	0.7
	東松島	59				0.1		3.8				
	塩釜	274	67			1.6			25			0.4

 アサヤの主力領域

※単位：百トン ※データ出所：海面漁業生産統計調査 2012年

三陸漁業の概況（魚種別・漁獲、2012年） アサヤ株式会社

地域		漁法	漁獲・計	マグロ	カジキ	カツオ	サメ	サケ・マス	イワシ	サバ	サンマ	ブリ	タラ	オキアミ	イカ	タコ	ウニ	コンブ
岩手	久慈		48	0.1		1.2		8.9	6.4	2.6		5.6	6.7		10	1.1	0.4	1.4
	普代		32	0.1		0.5		8.6	0.9	5.9		4.1	0.3	2.6	5.9	0.6	0.1	0.1
	宮古		199	18	1.3	1.0	0.8	19	0.7	15	6.0	9.9	76	8.5	26	2.6	0.1	4.7
	山田		63	1.3	0.8	0.9	2.1	7.2	2.9	10	6.6	6.5	3.6	13	4.3	1.4	0.3	
	釜石		285	39	4.6	0.3	8.1	8.6	0.1	11	29	5.9	119	9.1	41	1.6	0.3	
	大船渡		278	0.2	0.4	0.2	6.8	8.1	1.0	21	133	23	2.6	60	15	1.1	0.3	0.3
	陸前高田		61	0.1	0.8	0.1	6.3	2.1	0.6	7.6	19	8.6	0.8	10	1.4	0.3	0.1	
宮城	気仙沼		400	120	26	20	145	6.6	2.8	4.2	47	0.8	0.4	18	0.4	1.0	0.1	
	南三陸		65	0.1	1.7	0.3	6.8	11	0.8	1.3	11	1.3	1.8	21	0.8	1.7	0.2	
	女川		89	16	0.6	27	0.6	0.2	0.4	3.9	17	0.7	6.8	2.9	4.6	0.7	1.0	
	石巻		631	32	0.5	168	3.1	7.6	66	51	120	257	46	28	27	2.7	1.1	
	東松島		59					3.2	0.3		30	0.1	9.5		7.8	0.1		
	塩釜		274	22	2.1	0.1	3.4				57		48		20	0.5		

定置網

延縄

船びき網

 アサヤの主力領域

※単位：百トン ※データ出所：海面漁業生産統計調査 2012年

三陸漁業の概況（魚種別・養殖、2012年） アサヤ株式会社

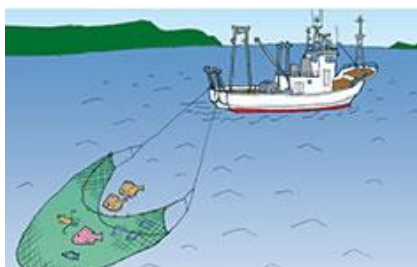
漁法		養殖・計	ギンザケ	ホタテ	カキ	ホヤ	コンブ	ワカメ	ノリ
地域									
岩手	久慈								
	普代	35					13	22	
	宮古	81					40	40	
	山田	7.2		2.4	1.8			3.2	
	釜石	30		1.2	0.3		8.6	20	
	大船渡	44		1.3	1.6		2.5	39	
	陸前高田	20		2.3	1.0		2.0	15	
宮城	気仙沼	43		2.8	0.9			33	
	南三陸	108	16	6.3	3.1			82	
	女川	65	47	12	5.2				
	石巻	158	31	14	34			53	25
	東松島	32			2.4			3.6	26
	塩釜	9.4			2.3			1.6	5.6

 アサヤの主力領域

※単位：百トン ※データ出所：海面漁業生産統計調査 2012年

底びき網

袋状になった網を漁船で引き回す。2艘引き、開口板を使う1艘引き（トロール）、引網と漁網を順番に投入する1艘引き（かけ回し）がある。カレイ・ヒラメ・エビ・カニ・貝類などを獲る。



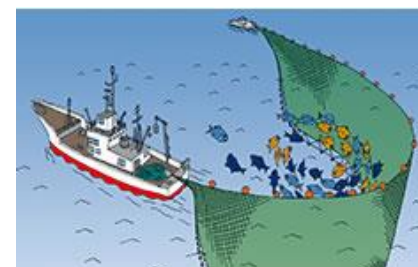
船びき網

底びき網は海底付近の魚を獲るが、船びき網は海面・海中の魚を獲る。比較的小さな魚を狙うことが多い。イワシ・サヨリ・スケトウダラ・ホキ・オキアミなどを獲る。



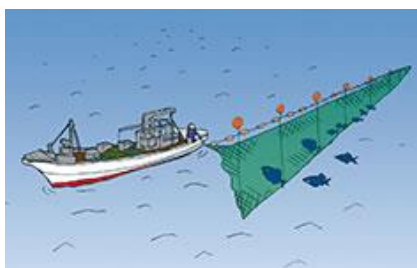
まき網

大型の網を投入し、漁船を走らせて円形に広げ、魚群を包み込んで獲る。効率よく大量に獲れるが、乱獲の懸念もある。大群で回遊する魚を狙う。アジ・サバ・イワシなどを獲る。



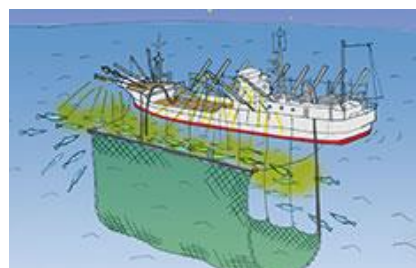
刺し網

魚の通り道に網を仕掛けて、魚を絡ませて獲る。海底に固定する底刺し網、中上層に張る浮刺し網、漂流させる流し刺し網、囲い込むまき刺し網がある。サケ・マス・タイ・カレイ・カジキ・イセエビなどを獲る。



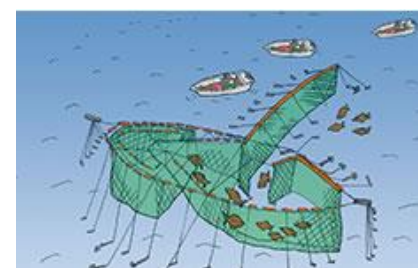
敷き網

網を海中に沈めて張り、集魚灯で魚を集めて、網を引き上げて魚を獲る。最も多く使われているのがサンマ魚で、サンマ棒受網と呼ばれている。サンマ以外では、イワシ・アジなどを獲る。



定置網

海中に仕掛けた網で魚を獲る。「垣網」で魚を遮り、「運動場」に滞留させ、「昇網」で誘導し、「箱網」に入れ、漁獲する作業を「網起こし」と呼ぶ。サケ・マス・イワシ・サバ・マグロなどを獲る。



※ 画像引用元：漁師.jp

延縄

長さ150～200kmの「幹縄」に2千～3千本の「枝縄」を付け、餌や仕掛けで魚を釣る。近海は中小型船で1～4ヶ月、遠洋は大型船で1年～1年半の操業。主にマグロ・メカジキを獲る。



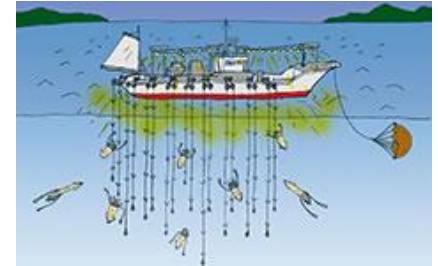
一本釣り

洋上の魚群を見つけ出し、イワシ等の餌を投げ入れ、おびき寄せて釣る。頭上に跳ね上げて針を外す「跳ね釣り」が主流で、1回の操業は15分～1時間。主にカツオ・マグロを獲る。



イカ釣り

夜間に集魚灯を使ってイカをおびき寄せ、自動イカ釣り機で獲る。甲板でサイズ別に選別し、氷漬けにして日帰りするか、急速冷凍して1～2ヶ月操業する。スルメイカ・ヤリイカなどを獲る。



採貝・採藻

カギやカマ、モリを使って、人の手で貝や海藻を採る。素潜り（海女・海士）や船の上から行うスタイルがある。アワビ・サザエ・カキ・ウニ・ナマコ・コンブ・ワカメなどを採る。



養殖

生け簀・筏を使って、魚・貝類・海藻を育てるのが養殖。最近話題のマグロ養殖は三陸だと下火。生け簀でのギンザケの養殖、カゴ・ロープで種苗・稚貝を育てるカキ・ホタテ・ホヤの養殖、ロープ・網に付けた種子・胞子を育てるワカメ・コンブ・ノリの養殖などが盛ん。選別、移し替え、間引きなどの人手が掛かる。魚の養殖には餌が必要だが、貝類は海中のプランクトンを食べ、海藻は光合成で育成する。



※ 画像引用元：漁師.jp

参考：業者関連図

